

共通戦略 1	革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進
--------	---------------------

施策 1	商工会ならではの徹底的サポートによる事業承継と創業の推進
------	------------------------------

1 令和5年度 施策の方向性
令和4年度の会員事業所実態調査のデータを活用して事業承継支援のターゲットを絞り、秋田県事業承継・引継ぎ支援センター、金融機関などと情報共有・連携しながら、世代交代を推進する。また、商工会報の町内全戸配布による創業支援の周知を継続し、より地域に開かれた相談窓口として創業支援を推進していく。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

<p>(1) 円滑な事業承継の推進事業 円滑な事業承継を推進するため最新の正確な実態と課題を把握し、その情報を基に支援ターゲットを絞って専門家などとも連携しながら解決策を模索、事業者毎に最適な事業承継支援を行った。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員事業所実態調査結果の活用 ・秋田県事業承継・引継ぎ支援センターと帯同訪問の実施 ・事業承継診断の実施、後継者情報の更新 ・事業承継マッチングサイトへの登録支援 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継計画（簡易版）の作成：7件 ・事業承継マッチングサイトへの登録：3件 ・後継者データを活用した事業承継の実現：5件（3件） （うち第三者承継：1件）
<p>(2) 創業環境整備の推進事業 商工会＝身近な創業相談窓口である旨の周知を図ったうえで、創業相談対応・創業支援を行った。また、空き店舗情報の収集・更新を継続した。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会報の町内全戸配布 ・創業相談対応・支援 ・空き店舗情報の収集 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業相談：9件 ・空き店舗を活用した創業者数：0件（1件） （創業の実現：7件） ・空き店舗情報の追加：2件

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 後継者データを活用した事業承継の実現 ・商工会基幹システムのデータ活用	1件 (3件)	5件 (3件)	(5件)	(5件)	(5件)
達成状況	未達成	達成			
(2) 空き店舗を活用した創業者数 ・管内の空き店舗を活用した創業の実現	2件 (1件)	0件 (1件)	(1件)	(1件)	(1件)
達成状況	達成	未達成			

4 施策目標に関する検証

<p>(1) 後継者データを活用した事業承継の実現</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業承継の推進事業 実態調査のデータを基に事業承継・引継ぎ支援センターと連携支援したことで、親族間だけでなく第三者承継も実現できた。また、金融機関と情報共有・連携したことで、マッチングサイトへの登録を進めた。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業承継の推進事業 事業承継支援のターゲットを絞り込むうえで、実態調査のデータ整理が足りなかった。
<p>(2) 空き店舗を活用した創業者数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業環境整備の推進事業 創生プラン時から、空き店舗情報のデータベース化と商工会報の町内全戸配布による創業支援の周知を継続している。その効果があつてか今年度も複数の創業相談があり（県外から移住して事業開始の相談を含む）、空き店舗情報は事業拡大相談者にも活用できた。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業環境整備の推進事業 空き店舗情報のデータベース化が、まだまだ不十分である。 また、空き店舗改修費用補助金の対象に旧能代市中心部だけでなく二ツ井町も加えるなどの、行政への創業者支援制度拡充の働きかけがきちんとできなかった。

5 次年度への改善点

<p>(1) 円滑な事業承継の推進事業 実態調査結果をもとに支援ターゲットをさらに絞り、秋田県事業承継・引継ぎ支援センターと計画的に巡回しながら、事業承継の実現を増やしていく。また、新年度から能代市が行う「継業バンク」事業に協力するなど、行政や金融機関と情報共有・連携を深めながら事業承継を推進する。</p> <p>(2) 創業環境整備の推進事業 空き店舗情報のデータベース化と、商工会報の町内全戸配布による創業支援の周知は継続していく。また、二ツ井町の空き店舗改修を補助金の対象とするなどの創業者支援制度の拡充を、行政に対して働きかけていく。</p>
--

共通戦略 1	革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進
--------	---------------------

施策 2	販路開拓や事業再構築など事業者の新たな挑戦の支援を強化
------	-----------------------------

1 令和5年度 施策の方向性
令和5年3月に経営発達支援計画の認定を受けたが、地域の事業者は多くの課題を抱えている。販路開拓や事業再構築など新たな挑戦を展開しやすくするため、同計画に沿いながら経営発達を支援していく。また、施策情報の発信を強化する。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

<p>(1) 経営発達支援やチーム支援による課題解決の推進事業 事業者の新たな取組を効果的なものとするため、経営発達支援計画に沿いながら支援を進め、高度な経営課題については専門家などと連携したチーム支援により課題解決を図った。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会への出展支援 ・専門家と連携したチーム支援の実施 ・RESAS を活用した地域経済動向調査の実施 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会への出展：2件 (うち二ツ井町商工会商談会等出展支援助成金の活用：2件) ・販路開拓等に係る専門家派遣の活用：2件 ・経営指導員の相談・支援件数における課題解決・提案の割合：54% (54%) ・商工会 HP で地域経済動向調査の公表
<p>(2) 施策情報の発信強化と活用支援事業 販路開拓や事業再構築などの新たな挑戦を支援する一環で、国・県・市の施策情報をタイムリーに届けたうえで、その実行を支援した。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策情報の提供 ・各種補助金の活用推進 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会 HP の更新：177回 ・販路開拓などの補助金の採択件数：8件 (7件)

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 経営指導員の相談・支援件数における課題解決、提案の割合 ・課題解決・提案の件数÷相談件数	61% (52%)	54% (54%)	(56%)	(58%)	(60%)
達成状況	達成	達成			
(2) 販路開拓などの補助金の採択件数 ・商工会が申請支援して採択された件数	7件 (7件)	8件 (7件)	(10件)	(10件)	(10件)
達成状況	達成	達成			

4 施策目標に関する検証

<p>(1) 経営指導員の相談・支援件数における課題解決、提案の割合</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営発達支援やチーム支援による課題解決の推進事業 経営発達支援計画に沿って、商談会への出展支援や RESAS を活用した地域経済動向調査のデータ公表など、新たな取組を行った。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営発達支援やチーム支援による課題解決の推進事業 経営発達支援計画の1年目として、予定した事業内容全てに取り組むことができなかった。
<p>(2) 販路開拓などの補助金の採択件数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策情報の発信強化と活用支援事業 各種施策情報のチラシをタイムリーに発送するとともに、商工会 HP の更新回数を大幅に増やした。また、最近では原材料価格や水道光熱費の高騰も大きな課題となっており、省エネ補助金の紹介・申請支援も行った。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策情報の発信強化と活用支援事業 各種補助金の中でも新たな挑戦の展開に有効な IT 導入補助金の活用支援を考えていたが、情報提供に留まった。

5 次年度への改善点

<p>(1) 経営発達支援やチーム支援による課題解決の推進事業</p> <p>経営発達支援計画については、年間スケジュールを改めて確認・整理したうえで、事業計画に沿って事業者の経営発達を支援していく。併せて、高度な経営課題に対しては、引き続きチーム支援による課題解決を推進していく。</p>
<p>(2) 施策情報の発信強化と活用支援事業</p> <p>引き続き各種チラシのタイムリーな発送や商工会 HP の積極的な更新により施策情報の提供を行いながら、事業者の販路開拓など新たな挑戦を支援していく。</p>

共通戦略2	新たな可能性を切り拓く多様な連携を推進
-------	---------------------

施策3	姉妹商工会など地域外連携による地域活性化の推進
-----	-------------------------

1 令和5年度 施策の方向性	
<p>当会と青森県・横浜町商工会は姉妹商工会であり、その縁を活かして、販路拡大を図る事業者に対し県外販路の一つとして横浜町との取引を促す。また、新型コロナが5類となって各種イベントが再開されており、「東京二ツ井会」総会や「きみまちの里フェスティバル」物産フェアへの出店を促すことで、新たな販路拡大につなげていく。</p>	

2 事業概要	※ () は活動目標値
--------	--------------

<p>(1) 横浜町との取引支援事業 横浜町は二ツ井町に無い海産物を取り扱っており、道の駅よこはまの年間来場者数は約 20 万人となっている。そこで、姉妹商工会の繋がりを活かした支援を行い、お互いの地域活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■活動内容 ・横浜町の事業者との取引支援 ■達成状況 ・横浜町の家産物業者の紹介：1 件 ・「菜の花フェスティバル」への出店 ・町内事業者の横浜町での販路拡大：1 件 (2 件) <p>(2) 「きみまちの里フェスティバル」などを活かした販路拡大の推進事業 「東京二ツ井会」総会と「きみまちの里フェスティバル」物産フェアは首都圏や県外客に対して地元特産品 PR の大きな機会であり、販路拡大に繋げるため積極的な出店を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■活動内容 ・「東京二ツ井会」総会への出店促進 ・「きみまちの里フェスティバル」物産フェアへの出店促進 ■達成状況 ・「東京二ツ井会」総会への出品社数：9 件 (10 件) ・「きみまちの里フェスティバル」物産フェアへの出店数：15 件 (14 件)
--

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 町内事業者の横浜町での販路拡大 ・町内事業者の商品の横浜町での取扱い	1 件 (1 件)	1 件 (2 件)	(3 件)	(4 件)	(5 件)
達成状況	達成	未達成			
(2) 物産フェアへの出店者数 ・「きみまちの里フェスティバル」と「東京二ツ井会総会」の出店者数 (二ツ井地区) 合計	15 件 (22 件)	24 件 (24 件)	(26 件)	(28 件)	(30 件)
達成状況	未達成	達成			

4 施策目標に関する検証

<p>(1) 町内事業者の横浜町での販路拡大</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか ・横浜町との取り引き支援事業 「ホタテを活用した商品を開発したい」との相談があり、横浜町商工会から紹介された海産物業者の情報を提供した。 また、4 年振りに開催された「菜の花フェスティバル」に青年部が出店し、横浜町との交流を深めた。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか ・横浜町との取引支援事業 横浜町との取引支援を行っている旨を広く周知できなかった。</p> <p>(2) 物産フェアへの出店者数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか ・「きみまちの里フェスティバル」などを活かした販路拡大の推進事業 今年度の「東京二ツ井会」総会は4 年振り開催かつ発足 40 周年で、青年部が地元商品の販売・PR を行った。また、「きみまちの里フェスティバル」物産フェアには毎回多くの来場者があり、「きみまち二ツ井マラソン」には県外からも多くのランナーが参加するので、積極的な出店を促した。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか ・「きみまちの里フェスティバル」などを活かした販路拡大の推進事業 さらに出店促進に向けた、具体的なアプローチが不足した。</p>

5 次年度への改善点

<p>(1) 横浜町との取引支援事業 横浜町との取引支援を行っている旨を広く周知し県外販路の一つとして紹介するとともに、横浜町の特産品であるホタテなど海産物の取り扱いも促す。</p> <p>(2) きみまちの里フェスティバルなどを活かした販路拡大の推進事業 「東京二ツ井会」は首都圏から、「きみまちの里フェスティバル」物産フェアは県外から多くのマラソンランナーが参加し、それぞれ地域外と連携を深める大きなチャンスである。新年度の「きみまち二ツ井マラソン」は 30 回の記念大会でもあるので、引き続き積極的な出店を促す。</p>

共通戦略2 新たな可能性を切り拓く多様な連携を推進

施策4 行政など地域内連携による賑わい創出の推進

1 令和5年度 施策の方向性
 地域のにぎわい創出を目的に行政や商工会などで組織する「二ツ井地域にぎわい創出推進会議」の恋文のまちづくり事業の一つとして、「きみ恋軽トラ市」の魅力アップを図るとともに、道の駅ふたついでから街なかへの回遊性を高める取組を推進する。また、道の駅ふたついで直売所出荷者など農業者への経営支援を積極的に行っていく。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

(1) 恋文商店街の推進事業
 地域の賑わいを創出するため、商店街中心部で開催している「きみ恋軽トラ市」の魅力アップを図るとともに、街なかへの回遊性を高める取組を行った。
 ■活動内容 ・「きみ恋軽トラ市」出店の支援
 ・新たなルートマップの作成
 ■達成状況 ・「きみ恋軽トラ市」への出店者数：9件(13件)
 (うち新規出店：1件(3件))
 ・『サイクリングマップ』の新規発行

(2) 道の駅直売所の出荷者などとの連携事業
 道の駅ふたついで直売所の出荷者など農業者への経営支援や連携を強化した。
 ■活動内容 ・農業者の6次産業化の支援
 ・農商工連携の支援
 ・農業者への経営支援
 ■達成状況 ・農業者の6次産業化支援：2件(2件)
 ・農商工連携支援：1件(2件)
 ・農業者への経営一般支援：3件

施策目標	実績値(目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) きみ恋軽トラ市への出店者数 ・年3回実施している軽トラ市への平均出店者数	9件 (12件)	9件 (13件)	(14件)	(15件)	(16件)
達成状況	未達成	未達成			
(2) 農業者の6次産業化 ・農業者の6次産業化の支援件数	2件 (1件)	2件 (2件)	(3件)	(4件)	(5件)
達成状況	達成	達成			

4 施策目標に関する検証

(1) きみ恋軽トラ市への出店者数
 ≪効果があった事業及びその内容≫ 何が良かったのか
 ・恋文商店街の推進事業
 商工会で創業支援した飲食事業者を新たに軽トラ市に出店させ、魅力アップを図った。また、4月から道の駅ふたついでと連携して始めたレンタサイクル事業の効果を高めるため、新たに『サイクリングマップ』を作成した。
 ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ 何が悪かったのか
 ・恋文商店街の推進事業
 軽トラ市は、豪雨で出店予定者のキャンセル、猛暑で来場者の減少など、天候の影響を大きく受けた。『サイクリングマップ』は、発行が遅くなり周知が十分にできなかった。

(2) 農業者の6次産業化
 ≪効果があった事業及びその内容≫ 何が良かったのか
 ・道の駅直売所の出荷者などとの連携事業
 ラズベリーを活用した新商品開発などの支援を継続している。また、その他にも農業者からの経営一般相談に対応している。
 ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ 何が悪かったのか
 ・道の駅直売所の出荷者などとの連携事業
 道の駅直売所の出荷者など農業者に対する、6次産業化や経営一般支援のPRが足りなかった。

5 次年度への改善点

(1) 恋文商店街の推進事業
 きみ恋軽トラ市は、キッチンカーの新規出店以外にも魅力アップを図り、出店者数を増やすことで来場者数も増やして地域活性化に繋げていく。また、集客効果の高い道の駅ふたついでから街なかへの回遊性を高められるよう、各種ツールの活用を進めていく。

(2) 道の駅直売所の出荷者などとの連携事業
 道の駅直売所の出荷者など農業者に対して、6次産業化や経営一般の支援を行っている旨をPRし、商工会加入にも繋げていく。

共通戦略3	成果を創出し続ける組織・運営体制の構築
-------	---------------------

施策5	商工会館移転計画などハード・ソフト両面による支援機能の強化
-----	-------------------------------

1 令和5年度 施策の方向性	
老朽化が進む商工会館の在り方について、将来においても個社支援機能を維持するため、商工会館移転に関する議論を加速させる。併せて、職員の資質向上のため人材育成の機会を増やす。ハードとソフトの両面で支援機能を強化することで、会員サービスの向上に繋げていく。	

2 事業概要 ※ () は活動目標値

<p>(1) 商工会館移転計画の作成事業 商工会館移転検討委員会を開催し、現会館と移転先(案)に関する改修費・解体費・維持費などを比較検討して、移転先に関する議論を深めた。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会館移転検討委員会の開催 ・商工会館移転先(案)の現場視察 ・商工会館移転先(案)に関する改修見積書の準備 ・町内空き施設に関する情報収集 ・商工会館移転先(案)に関する比較検討資料の作成 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会館移転計画の作成に関する検討：2回(4回) ・委員会の結論として現商工会館の改修・継続使用
<p>(2) 職員の研修機会の拡大事業 小規模な商工会で個社支援を強化するためには全職員が幅広い業務に精通する必要があり、各種研修会の受講と職場内教育(OJT)の実践を積極的に進めた。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webセミナーの受講推進 ・業務のローテーション化 ・商談会視察研修へ経営支援員を帯同 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修会の開催：11回(3回)

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値(目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 商工会館移転計画の作成に関する検討 ・商工会館移転検討委員会の開催回数	2回 (4回)	2回 (4回)	(2回)	(2回)	(-)
達成状況	未達成	未達成			
(2) 職員研修会の開催 ・職員向け各種研修会の開催回数	6回 (3回)	11回 (3回)	(3回)	(3回)	(3回)
達成状況	達成	達成			

4 施策目標に関する検証

<p>(1) 商工会館移転計画の作成に関する検討</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会館移転計画の作成事業 <p>前年度に移転先(案)として意見の挙がったJR二ツ井駅前の「パークりんりん」について、現場を視察して改修見積書を準備。また、その他の町内空き施設についても情報収集。そのうえで、現会館と移転先(案)に関する改修費・解体費・維持費などを比較検討して、移転に関する議論を深めた。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会館移転計画の作成事業 <p>移転先の候補になりうる適切な施設が町内に少なく、改修費用が想定以上に高額であった。</p>
<p>(2) 職員研修会の開催</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の研修機会の拡大事業 <p>職員の資質向上を図るためWeb研修を推進し、IT関係を中心に、副業・兼業人材活用、電子帳簿保存法、物流問題、企業連携など、昨今問題の幅広いテーマを受講させた。また、少数の職員で効果的な支援を行うため、業務のローテーション化を進めるとともに、商談会視察研修に経営支援員も帯同させた。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の研修機会の拡大事業 <p>共通テーマの職員勉強会等を開催することができなかった。</p>

5 次年度への改善点

<p>(1) 商工会館移転計画の作成事業 移転検討委員会での議論の結果、現商工会館の改修・継続使用を委員会の結論とした。新年度は、改修の範囲や工事の進め方などについて、議論を進めていく予定。</p>
<p>(2) 職員の研修機会の拡大事業 引き続きWebセミナーの受講を推進する。また、中小企業基盤整備機構東北本部の地域支援機関等サポート事業などを活用しながら、会員支援で課題となっているテーマに関する職員勉強会も開催する。</p>

独自戦略1 「道の駅ふたつ」から街なかへの回遊性向上による交流人口の増加

施策7 「恋文すぽっと きみまち」を活用した「道の駅ふたつ」からの誘客活動

1 令和5年度 施策の方向性
 「道の駅ふたつ」は年間来場者数が100万人を超えるなど高い集客力を誇っている。今後、二ツ井今泉道路が開通予定であり、更に多くの人々が二ツ井町を訪れることが見込まれる。そこで、商店街活性化の拠点「恋文すぽっと きみまち」が各種誘客ツールを活用して、道の駅から街なかへ少しでも多くの誘客を図っていく。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

- (1) クーポン券やパンフレットなど誘客ツールの活用事業**
 恋文すぽっとが、道の駅から街なかへの誘客ツールとして観光アプリ「能代きみまち散歩」の登録支援を継続するとともに、レンタサイクル事業の効果を高めるため新たなパンフレットを作成した。
- 活動内容 ・「能代きみまち散歩」の登録支援
 ・新たなパンフレットの作成、道の駅ふたつなどへの設置
 - 達成状況 ・新たな誘客ツールの活用店舗数：21件 (20件)
 (うち「能代きみまち散歩」の新規登録12件)
 ・「能代きみまち散歩」電子クーポン券の作成：9件
 ・『サイクリングマップ』の作成：5,000部
- (2) 商店情報の発信の強化事業**
 道の駅から街なかの案内所である恋文すぽっとへ、更にそこから各店舗へ誘客を図るため、道の駅の来場者を意識した情報発信を強化した。
- 活動内容 ・商店の情報発信の支援
 ・SNSによる情報発信
 - 達成状況 ・商店街(恋文すぽっと)への来場者数：3,655人 (4,900人)
 ・X158回、Instagram159回の投稿

3 施策目標及び達成状況

施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 新たな誘客ツールの活用店舗数 ・加盟登録店舗 (恋文すぽっとで支援)	8件 (15件)	21件 (20件)	(25件)	(30件)	(35件)
達成状況	未達成	達成			
(2) 商店街への来場者数 ・指標の一つとして、商店街活性化の拠点「恋文すぽっと きみまち」の来場者数	4,816人 (4,700人)	3,655人 (4,900人)	(5,100人)	(5,300人)	(5,500人)
達成状況	達成	未達成			

4 施策目標に関する検証

- (1) 新たな誘客ツールの活用店舗数**
- 《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
 ・クーポン券やパンフレットなど誘客ツールの活用事業
 「能代きみまち散歩」の加盟店や電子クーポン券の登録支援を継続した。また、道の駅と連携してレンタサイクル事業を始めたが、その効果を高めるため街なかへ誘客する『サイクリングマップ』を作成し、道の駅ふたつなどに設置した。
- 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
 ・クーポン券やパンフレットなど誘客ツールの活用事業
 「能代きみまち散歩」の周知を図っているものの、まだまだアプリ自体が認知度不足である。『サイクリングマップ』の作成時期が遅かった。
- (2) 商店街への来場者数**
- 《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
 ・商店情報の発信の強化事業
 各商店の売出しやお勧め商品・サービスなどの情報をタイムリーに発信。Xの投稿を158回、Instagramの投稿を159回実施し、街なかへの誘客を図った。
- 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
 ・商店情報の発信の強化事業
 SNSによる情報発信の際、道の駅から街なかへ回遊したくなるように、商店情報を充実させる必要があった。

5 次年度への改善点

- (1) クーポン券やパンフレットなど誘客ツールの活用事業**
 引き続き「能代きみまち散歩」の周知と登録支援を行うとともに、内容を充実させ利用ユーザーを増やしていく。また、令和6年度は「きみまち阪公園開園100周年」を迎えるため、それに関連した街なかへの誘客事業も進めていく。
- (2) 商店情報の発信の強化事業**
 SNSによる情報発信の際、ターゲットである道の駅来場者を意識して、商店情報をさらに充実させた内容としていく。また、情報発信を効果的にするため、新たにYouTubeを活用した動画配信なども検討していく。

独自戦略1 「道の駅ふたつ」から街なかへの回遊性向上による交流人口の増加

施策8 他団体との連携と地域資源を活かした誘客による地域活性化

1 令和5年度 施策の方向性
 今後、二ツ井今泉道路が開通し、地域外からさらに多くの人を呼び込むチャンスを迎える。また、二ツ井町には多くの地域資源があり、街なかの事業者は個店の強みを活かしながら地域コミュニティを支えている。そこで、街なか全体をサービスエリアと捉え、他団体と連携を深めながら道の駅から街なかへの誘客を図る。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

(1) 関係団体と連携した道の駅ふたつから街なかへの誘客事業
 道の駅来場者に街なかの個店へ興味を持ってもらうため、販路拡大や新商品開発を考えている事業者を支援して道の駅への出品を促した。また、関係団体とも連携しながら誘客事業に取り組んだ。
 ■活動内容 ・道の駅ふたつへの出品支援
 ・関係団体と町内事業者を組み合わせた周遊ルートの整備
 ■達成状況 ・道の駅ふたつへの出品者数：10件（9件）
 ・『サイクリングマップ』の作成

(2) 地域外から二ツ井町への誘客環境の整備
 地域外の人から二ツ井町の魅力を感じてもらうきっかけの一つとして、道の駅と連携してレンタサイクル事業（二人乗りタンデム自転車など）を始めた。
 ■活動内容 ・道の駅を拠点としたレンタサイクル事業の実施
 ■達成状況 ・道の駅ふたつとの連携事業：1件（1件）
 （4～11月のレンタサイクル利用者は116人）

施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 道の駅ふたつへの出品者数 ・自社商品出品の会員事業者数	10件 (7件)	10件 (9件)	(11件)	(13件)	(15件)
達成状況	達成	達成			
(2) 道の駅ふたつの来場者数 ・一年間の来場者数	103万人 (100万人)	(100万人)	(110万人)	(120万人)	(130万人)
(2) 道の駅ふたつとの連携事業 ・道の駅と連携した誘客環境の整備	-	1件 (1件)	(1件)	(2件)	(2件)
達成状況	達成	達成			

4 施策目標に関する検証

(1) 道の駅ふたつへの出品者数
 ≪効果があった事業及びその内容≫ 何が良かったのか
 ・関係団体と連携した道の駅ふたつから街なかへの誘客事業
 事業者の販路拡大や新商品開発などを支援してきた。また、『サイクリングマップ』では、道の駅と連携したレンタサイクル事業、街なかの各店舗、町内の歴史スポットを紹介した。
 ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ 何が悪かったのか
 ・関係団体と連携した道の駅ふたつから街なかへの誘客事業
 出品支援が足りなかった。

(2) 道の駅ふたつとの連携事業
 ≪効果があった事業及びその内容≫ 何が良かったのか
 ・地域外から二ツ井町への誘客環境の整備
 高い集客力を誇る道の駅の来場者に二ツ井町の魅力を感じてもらうきっかけの一つとして、恋文の街に相応しい二人乗りタンデム自転車等によるレンタサイクル事業を、道の駅と連携して始めた。
 ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ 何が悪かったのか
 ・地域外から二ツ井町への誘客環境の整備
 レンタサイクルの利用は県外・海外の方が約40%で、利用目的地はきみまち阪など道の駅周辺が多かった。利用者数を増やし商店街まで足を延ばしてもらうためには、さらなる周知が必要である。

5 次年度への改善点

(1) 関係団体と連携した道の駅ふたつから街なかへの誘客事業
 道の駅への出品支援を行うとともに、令和6年度は「きみまち阪公園開園100周年」を迎え関係団体により記念事業を行う実行委員会が組織されるため、街なかへの誘客に繋がるよう連携を深めていく。

(2) 地域外から二ツ井町への誘客環境の整備
 道の駅と連携しながら、レンタサイクル事業とその周知を継続していく。なお、『二ツ井今泉道路 IC 名称アンケート調査』の結果は国土交通省能代河川国道事務所へ報告済みであり、二ツ井今泉道路の早期開通と地域外の方が二ツ井町に寄りやすくなる IC 名称になることを引き続き期待する。